



藤井浩人月私マガジン

2021.4

春のごあいさつ

4月、今年も桜は美しく咲いています。

新たな門出の季節、まだまだコロナ感染の心配が無くなりませんが、皆さんにとって素晴らしい年度となりますことを願っております。

新年度を迎え

この春、私なりの挑戦として、私のこれまでの経験を一冊の本にまとめることを仕事の傍ら進めていきたいと思っております。また、私が市民の皆さんから頂いた多くの課題に対する自分なりの提案を交えたものも、一冊の本にできないかと考えています。お披露目できる機会には、いち早く皆様にお知らせしたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

LINEの活用について

今回もLINEを活用してTIMESを配信しておりますが、LINE利用者の個人情報が、中国の関連会社で閲覧可能な状態になっていたことが国会等で問題となっています。

多くの方がLINEを利用していることに注目し、藤井浩人同志会でも利用してきましたが、今後については、暫く状況を見ながら判断していきたいと思っております。

ワクチン接種について

現在、医療従事者等への摂取が進み、今後、4月12日に高齢者、6月以降に基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者、その他の者という優先順位で摂取が行われる予定となっています。このワクチンの摂取について、時々聞かれることがあるので、私の思うことを少し記しておきます。

ワクチン摂取を待ち望んでいる方も多くいらっしゃると思いますが、今回のワクチン摂取は強制ではなく、「分かっていること」が幾つもあるものであることを理解した上で、摂取についての判断が必要だと感じています。「分かっていること」としては、今回のワクチンは、これまでの生ワクチン、不活化ワクチンと異なり、メッセンジャーRNAワクチンという、これまで私たちが摂取してきたワクチンとは性質が全く異なるものであることが挙げられます。また、ワクチンの効果は、新型コロナウイルス感染症の発症の予防、重症化の予防に効果があると言われていています。しかし、感染を防ぐ効果や、「集団免疫の効果があるかどうかは分かっておらず、分かるまでには、時間を要する」と厚生労働省も記しています。

この他にも、今後色々な情報が出てくるとは思いますが、テレビなどの雰囲気判断を任せてしまうことなく、それらの情報を確認してからご自身の判断で摂取を決める必要があると思います。

コロナ対策については、これから変異種や全く異なるウイルスなどが流行る可能性を考えると、今回